

「全国、埼玉県学力・学習状況調査結果に基づく授業改善を目指した取組」

～授業改善を目指した R-PDCA サイクルの導入とその成果～

羽生市教育委員会・羽生市立三田ヶ谷小学校

## 1 本校の概要

本校は、羽生市の北東に位置し、国の天然記念物となるムジナモの自生する宝蔵寺沼を校区に抱える緑豊かな学校である。1983年から始まったムジナモの保護・増殖活動は、地域のムジナモ保存会の指導を受けながら、毎年約500株ずつ宝蔵寺沼に放流している。今年度、それらの取組が評価され、環境省主催 日本鳥類保護連盟会長賞表彰を受けた。

学力については、小規模の学校であるが、学習に対して意欲的な子と苦手意識をもつ子の二極化が見られ、すべての子が授業に興味をもちながら、主体的に学習に取り組めるような授業改善が必要であると感じている。

今年度は全国、埼玉県学力・学習状況調査結果の分析に基づいた授業改善を目指し、羽生市で推進している R-PDCA サイクルを学校に当てはめた取組を計画し、授業改善を目指した。

## 2 具体的な取組

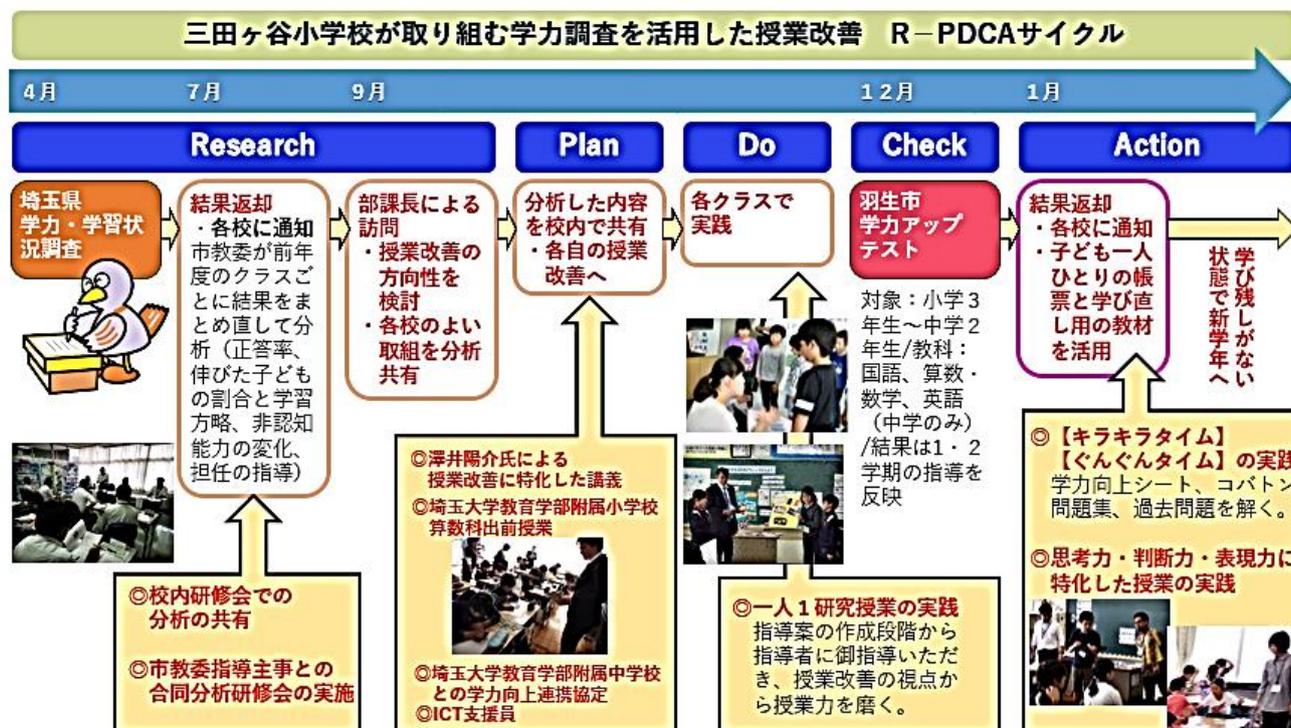
### ① 全国、埼玉県学力・学習状況調査の結果分析 (Research)

### ② 学校の状況分析と授業改善 (Plan-Do)

- ◎ 市教委の学力向上担当を招いた学校分析
- ◎ 分析した内容を校内で共有・各自の授業改善へ
- ◎ 一人1研究授業の実践  
→指導案の作成段階から指導者に御指導いただき、授業改善の視点から授業力を磨く。

### ③ 羽生市学力アップテストの実施と弱点克服に向けた復習 (Check-Act)

- ◎ 次年度へ向け弱点克服をしていくための羽生市学力アップテスト  
→1月に返却される結果帳票の分析を通して個々の課題を的確に把握し、個別に印刷される補充プリントを基に復習していく (キラキラタイム・ぐんぐんタイムの充実)。



## 3 成果と課題

**成果**：県学調の具体的な分析に基づき、明確になった課題を克服するための「効果的な取組」について、羽生市版の「よい取組事例集」を共有することで、さらによいものへブラッシュアップするスパイラルへと移行することができている。最先端の研究や取組をされている先生方を学校に招き、直接授業を見たり、学校の授業を見ていただいたりすることで、授業改善への指標が明確になった。

**課題**：学力向上は学校だけの課題ではない。PTAやコミュニティ・スクール等を活用し、地域・保護者と連携しながら進めていくことも必要である。